



誰ひとり取り残さない豊見城市へ



日本共産党 市会議員

まえさと保

1956年宮古島市生まれ、興南高校、九州学院大学航空工学科卒業、豊見城市議、根差部自治会役員
【事務所】豊見城市金良350-1 電話：987-1634 どんなことでもお気軽にご相談ください

2022年12月号外
発行：沖縄民報社
那覇市前島3-1-17 喜久山ビル
3階 ☎098(862)6232
日本共産党の市議選予定候補者と
見解を紹介します。

沖縄民報

**福祉・教育行政を後退させない
市民の願いで市政を動かします**

まえさと保

たもつ

デニー県政を豊見城から支え
子育て支援、福祉の充実へ



豊知事
玉城デニー

7つの主お約束

- ① 学校給食の無料化
- ② 高校卒業までの医療費の窓口無料化
- ③ 返済のいらぬ奨学金制度の拡充
- ④ モノレールの豊見城への早期延伸
- ⑤ 国保・介護保険料の減免制度の拡充
- ⑥ 補聴器購入のための助成制度
- ⑦ ジェンダー平等、パートナーシップ制度

新しい市議会で提案、実現へ

オール沖縄でがんばるまえさと保さんを応援します。



衆院議員
赤嶺 政賢



参院議員
高良 鉄美



参院議員
伊波 洋一



元参院議員
糸数 慶子



県議会議員
瀬長美佐雄

饒波	長	比嘉	比嘉	赤嶺	外間	奥平	嶺間	嶺間	真境	比屋	佐邊	又吉	真境	前田	比嘉	名嘉	名嘉	照屋	賀数	赤嶺	屋良	真栄	金城	石川	天久	山里	山里	宮里	川平	石垣	佐事				
木	郁美	徳盛	文雄	弘次	正一	幸夫	憲夫	英康	聡よ	や一	信康	元康	真境	比屋	佐邊	又吉	真境	前田	比嘉	名嘉	名嘉	照屋 <td>賀数</td> <td>赤嶺</td> <td>屋良</td> <td>真栄</td> <td>金城</td> <td>石川</td> <td>天久</td> <td>山里</td> <td>山里</td> <td>宮里</td> <td>川平</td> <td>石垣</td> <td>佐事</td>	賀数	赤嶺	屋良	真栄	金城	石川	天久	山里	山里	宮里	川平	石垣	佐事

新基地ストップ！ 沖縄を二度と戦場にさせない！

オール沖縄でがんばる
日本共産党

まえさと保

バツグンの政策提言と実行力

身近に役立つ わったあ議員 ……まえさと保

小中学校全教室クーラー設置完了 就学援助、生活保護の利用の改善・拡充

学校クーラー設置、低所得家庭が利用しやすい就学援助制度と生活保護行政への改善と拡充を、オール沖縄・山川市政のもとで実現させてきました。

全小学校内に学童クラブ実現 待機児童ゼロまであと一歩

日本共産党市議団

「豊見城民報」を32年間、毎週発行

市民目線で市政をチェック。議会や市政の動きなどを知らせる「豊見城民報」を1990年から毎週発行。1600号を超えました。この4年間、議会ごとに「市議団便り」を発行し、全世帯にお届けしています。



市政のチェック役

自公市政の11年前、市が国の補助金を目的外使用し、7500万円の罰則金を市民に負担させたとき、市民の会の共同代表として訴訟を起こし、当時の市長などに和解金を市に返納させました。その経験を活かし議会でも市政のチェック役として大事な役割を果たしています。

まえさと保市議は、オール沖縄の山川前市政を支え、市民の願いを1期目から大きく前進させてきました。

コロナ禍から暮らしと経済立て直し
安心してくららせる豊見城市へ全力

市政は国言いなりの自公市政に変わりましたが、「住民が主人公」つらぬぎ、市民のくらしを守っていきます。

大軍拡・大增税でくらし破壊の岸田政権ノー! 日本の政治を変える、大きな流れを豊見城から

立場の違いをこえ 平和とくらしを守る豊見城を

「市民が主人公」つらぬぎ、悪い政治から市民を守る

今こそ議会に必要なまえさと市議

まえさと保市議は、宮古島生まれ。根差部に住んで37年、4人の子ども達も根差部から巣立ちました。

4年前市議会に送り出していただき、地域のみなさんの声で市政を動かすためにがんばってきました。

オール沖縄市政とともにきづいてきた、全県に誇れる子育て支援、福祉を後退させず、さらに前進させていきます。



巨大な墓地建設ノー 住み良い環境づくり

根差部地域に、とつぜん2000基もの巨大な墓地建設計画が持ち上がり、みんなが心配しています。周辺は児童生徒の通学路でもあり、教育環境や生活・自然環境の悪化につながります。

まえさと市議は住民とともに署名を集めるなど、建設計画の断念を求めてがんばっています。



交通事故から住民の安全を守るために

「根差部入り口の電柱が大変危険なため、移動して欲しい」と自治会からも要望が出ていました。

まえさと市議は、すぐに沖縄県に要望し、議会でも取り上げ、2022年11月に撤去が実現。市民から「安全に通行出来るようになった」と喜ばれています。



働く人の権利と、くらしを守るために

市役所で働く臨時職員が全職員の4割を占めていますが時給は935円。

まえさと市議は、年収200万円未満の任用職員が81%余りいることを議会でも取り上げ、「これでは市民のために安心して働けない」として改善を求め、時給の引き上げや月給制についても検討を約束させました。

